

<英文法超基礎⑨> Lv.★★★★☆☆ 分詞③

①分詞構文とは

分詞構文はいわゆる分詞の「1.」で、VingやVp.p.を使って、
接続詞的な働きをする!

①(a) He always studies English. + (b) He listens to music.

→ He always studies English **listening** to music.

「彼は音楽を**聴きながら**いつも英語を勉強する」

②(a) This book is written in English. + (b) It is difficult to read it.

→ **Written** in English, this book is difficult to read.

「英語で**書かれている**ので、この本は読みにくい」

②分詞構文の作り方

(例) When he saw me, he ran away. 「彼が私を見たとき、彼は逃げた」

① (2.)

~~When~~ he saw me, he ran away.

② (3.)が同じ→ (4.) / (5.)が違う→ (6.)

~~he~~ saw me, he ran away ← 結論の方を残す!

③ (7.)! ← 受動態の場合は (8.)を省略してVp.p.

Seeing me, he ran away.

(問) Because it was sunny, I went out. 「晴れていたの、私は外出した」

→ (9.)

→ (10.) ← Sが違う分詞構文を
独立分詞構文といふ!

(問) Because the boy was praised by his father, he looked happy.

「お父さんにその少年はほめられたので、うれしそうだった」

→ (11.)

→ (12.)

☆否定の分詞構文は分詞の(13.)に not・neverを置く!

Not feeling well, I went to the hospital. 「気分が良なくて、
私は病院へ行った」

③ 分詞構文の位置

① (14.): (15.)

Having a fever, I went to bed earlier. 「熱があったのでいつもより早く寝た」

② (16.): (17.)が入る位置

Tom, not knowing what to do, kept silent.

「トムは何をしたらいいかわからなくて、黙っていた」

③ (18.): (19.)に「カンマ+分詞」の形

He always eats breakfast, reading a paper. 「彼はいつも新聞を
読みながら朝食をとる」

④ 分詞構文の様々な訳し方

分詞構文は「時」「理由」「条件」「付帯状況」など、いろんな訳し方があるが、基本的に

Ving は「20. 」. Vp.p. は「21. 」と考えればオッケー!

Watching TV, I fell asleep. 「テレビを見ていて眠ってしまった」(時)

Left alone, the girl was sad. 「一人ぼっちにされて、女の子は悲しかった」(理由)

Used properly, this knife cuts well. 「正しく使われて、このナイフはよく切れる」
(= 正しく使えば) → (条件)

He was cooking, talking with me. 「彼は私と話して、料理を作っていた」

→ 同時に起こっていることを付帯状況といい、「22. 」と訳す。

この用法の場合、(23.)にくることが多い!

⑤ 完了形の分詞構文

分詞構文は2つのことが同時に起こっていることを表すが、分詞句の内容が
主節の「時」より(24.)であれば、(25.)で表す!

Because I lived here once, I know my way around.

カコ ←—— 時のズレ —→ 現在

→ ~~Because~~ I lived here once, I know my way around.

→ Having lived here once, I know my way around.

「かつてここに住んでいたんで、私はこのあたりの道に詳しい」

★ 否定の完了形の分詞構文は(26.)となる!

↑ neverの場合は havingの前でも後ろでもどちらも可!